

昭和興産タイランド

水野 裕行社長



昭和興産タイランド（水野裕行社長）は、化学品、エレクトロニクスや食品分野を中心に好調に推移し、2018年売上高は前年比10%増と大きく伸びた。取り扱う商材の幅を広げるとともに、ベトナムなど周辺国への展開も強化し、新たな成長ステージへと突入する。

同社は化学品や合成樹脂、エレクトロニクス関連や食品分野などで幅広い商材を取り扱い、さまざまなマーケットをバランスよくカバーしている。タイ国内の主要工業団地計11カ所に置く営業倉庫を活用して、タイムリーかつ正確な製品供給を行っている。トレーディング会社だが、ISO 9001認証を取得。引き続き「顧客満足度の向上」に向けてきめ細かいサービスの提供を追求していく。設立から22年が経過し、さらなる成長に向けた施策

ベトナムなど周辺国も展開

を相次ぎ実行する。タイのほか周辺国へのマーケティングも強めており、その一環としてベトナムに進出する予定。昭和興産タイランドが全面支援して体制を整え、2020年に営業を開始する計画で準備を進めている。

タイ国内では新規ビジネスとして工場向け簡易設備監視システム「e-FUJ IYAMA」の販売に乗り出した。機械装置を無線センサーで監視する簡易システムで、日本で120社以上に採用されている。タイでは操業の安定化や工場作業の自動化につながるシステム導入を検討する企業が増加している。拡大が見込まれる市場を開拓し早期に年間売上高1億円を目指す。

そのほか、樹脂やゴム関連製品で新規品の取り扱いを開始する。タイでの実績をベースにベトナムへの展開も狙う。

また、インドから潤滑剤の輸入販売、中国の添加剤メーカーと新たな代理店契約締結など任入れ先の多様化を進めている。顧客のニーズに迅速に対応し需要を取り込んでいく。